

## 特別の教科 道徳

「特別の教科 道徳」について、以下の観点に基づき、発行社ごとに教科書を調査・研究した。

### 選定の観点

- 1 発達段階に即した学習のねらい・目標や適切な振り返り活動の設定など、生徒が道徳的な成長を実感でき、道徳的な判断力、心情、実践意欲と態度を身に付けられるよう工夫・配慮がなされていること。
- 2 道徳的価値について広い視野から多面的・多角的に考えられるよう、生徒が主体的・対話的に学習に取り組むための言語活動や問題解決的な学習、道徳的行為に関する体験的な学習等の多様な指導方法が工夫され、「考え・議論する道徳」の学習活動が展開しやすいこと。
- 3 教材に応じて、読み物資料に加え、多様で適切な挿絵や写真等が豊富に用いられるとともに、生徒が特定の見方や考え方に偏ることなく、多様な見方や考え方ができるよう工夫・配慮がなされていること。また、ICT機器の活用も含め、個別最適な学びと協働的な学びを展開しやすいように工夫・配慮されていること。
- 4 生命の尊厳、社会参画、自然、伝統と文化、先人の伝記、スポーツ、情報化への対応等の現代的な課題等を題材とし、生徒が物事に対して多様な考えをもつことができたり、感動を覚えたりするよう工夫・配慮がなされていること。
- 5 生徒が人権の重要性を学び、また、道徳的な問題において、悩みや葛藤等の心の揺れ、人間関係の理解等の課題も含め、深く考え、人間としての生き方について考察できるなど、基本的人権の尊重の精神及びよりよく生きる喜びや勇気をもてるよう工夫・配慮がなされていること。
- 6 系統的・発展的に学習しやすい教材構成であることに加え、他教科等の学習内容との関連や現代的な教育諸課題との関連が想起しやすく、また他校種との接続や家庭・地域との連携についても工夫・配慮がなされていること。
- 7 表記、表現、写真、図表等が適切かつ正確であることに加え、ユニバーサルデザインの観点から、文字フォント、色の使用、紙面の構成等において見やすく読みやすいよう工夫・配慮がなされていること。また、再生紙の使用や環境に優しいインクの使用等環境への配慮がなされていること。

## 特別の教科 道徳

### 調査研究の結果の概要

#### ■東京書籍「新編 新しい道徳1」「新編 新しい道徳2」「新編 新しい道徳3」

各学年の巻頭に漫画を用いた実際の授業場面が紹介されているのに加え、1つめの教材の最後には「学習の流れ」として、その教材の発問を取り入れながら具体的な授業の流れのステップが示されているため、生徒が道徳科の授業の目的や流れを確認し、自分の考えを深めるイメージをもちやすい。また、各教材では、生徒に投げかける表現でテーマが示されるとともに、各教材末には、中心発問である「考えよう」、「見つめよう」の2つの発問と合わせて「ぐっと深めよう」が用意されるなど、考えをより深められるようよく工夫されている。

各学年に、2時間連続した問題解決的な学習や、役割演技等の体験的な学習を行う「plus」が複数用意されており、役割を演じて考えを伝え合うだけでなく、それぞれの立場で問題解決的に考えることで深い学びへと向かえるよう、よく工夫されている。また、詩・歌、格言等、教材に関連する資料等が幅広く「plus」で紹介されていたり、多様な見方や考え方を促すため、同じ視点の内容で異なる教材が連続して複数配置されていたりするなど、生徒が幅広い視野から、より深く考えられるよう、よく工夫されている。

切り取って使用する「心情円」が用意されており、自分の考えを表し、対話する活動につながれるよう工夫されている。また全学年で、コラム「探究の対話 p 4 c」として、対話を通して他者と問いを共有し、様々な視点から考えを深めていく活動が掲載されていたり、教材「道徳×防災」では、立場を分けて議論する活動が設定されるなど、「考え・議論する道徳」の学習活動が展開しやすいようよく工夫されている。

教材に関して、現代的な課題については、ユニット「いじめのない世界へ」と「いのちを考える」を全学年に設けている。イラスト・読み物・漫画教材を通して生徒が多面的・多角的に考えられるよう工夫されている。「いのちを考える」のユニットでは、いのちについて多様な考えをもてるように3つの教材を配置しており、「plus」等も含め、全体として感動を覚えるような工夫がされている。また、人間としての生き方を考える教材については、お釣りの間違いを指摘しなかったとき、誤答だったが答案に丸がついていたときなど、身近な場面設定で自分を振り返った後、別の教材につなぐことで、生徒が人間の弱さや醜さに向き合い、よりよく生きることについて、重層的に考えられるようよく工夫されている。

#### ■教育出版「中学道徳1 とびだそう未来へ」「中学道徳2 とびだそう未来へ」

##### 「中学道徳3 とびだそう未来へ」

各学年巻頭の「さあ、道徳を始めよう！」では「問題に気づく」、「考え、話し合う」、「深める」、「つなぐ」の4つの学習の流れが示されており、生徒が道徳科の授業のイメージをもちやすい。また、各教材の冒頭に、学習のねらいの意識付けを行うための導入文が疑問文の形で示されるとともに、各教材末の「学びの道しるべ」には、道徳的価値の理解を深め、自己を見つめる発問が3問用意されており、導入文と併せて連携させることで、生徒が考えの変化を実感しやすく、段階的に考えを深められるよう構成されている。

各学年に、問題解決的な学習や、「やってみよう」では話し合い活動や役割演技等、体験的な学

習が複数設けられており、生徒が日常の体験を想起しながら、多様な指導方法を用いて、考えを深められるよう工夫されている。

本教材と同じ内容項目を異なる視点から扱う読み物資料など、補充教材が各学年に5本用意されていたり、現代的な課題をテーマとするコラム「ひろば」が適宜配置されているなど、生徒の多様な見方や考え方を促し、より深く考えられるよう工夫されている。

各学年の巻頭の「さあ、道徳を始めよう！」では、学習の流れと共に、生徒が意見を出し合うイラストが掲載されるなど、他者との話し合いの中で自分の考えを深めることがイメージでき、生徒が主体的・対話的に学習に取り組めるよう工夫されている。

教材に関して、現代的な課題については、「いじめをなくそう」、「いのちをかがやかせる」をテーマとし、複数の教材とコラム「ひろば」を組み合わせたユニットを設定している。「いのちをかがやかせる」のユニットでは、生徒が問題の本質について多面的・多角的に考えを深める中で、感動を覚えられるように工夫されている。また、人間としての生き方を考える教材については、亡くなった父が子どもに残した手紙を題材にした教材や、震災からの復興をテーマにした教材、震災で母を亡くした少女が強く生きようとする姿から悩みを乗り越えた先にある、よりよく生きる喜びについて考える教材等が配置されるなど、生徒がそれについて深く考えられるよう工夫されている。

#### ■光村図書出版「中学道徳1 きみが いちばん ひかるとき」「中学道徳2 きみが いちばん ひかるとき」「中学道徳3 きみが いちばん ひかるとき」

各学年の1つ目の教材「道徳の学習を始めよう」と2つ目の教材「道徳で大切にしたいこと」では、道徳科での学習方法や考えの深め方が示されており、自分の考えを深める手立てとなるよう工夫されている。また、題材の最初に内容項目が提示され、各教材に関する発問の後には、「見方を変えて（多面的・多角的な見方・考え方）」、「つなげよう（学びの広がり・深化）」が、分かりやすく区別して設定されており、段階的に考えを深められるようよく工夫されている。

各教材の「手引き」のうち、問題解決的な学習や役割演技を促す「チャレンジ」が複数用意されている。「演じて考えよう」の手引きでは、吹き出しの空欄に言葉を入れて演技をすることで、気持ちを考えることを通して生き方を考えられるよう工夫されている。

各教材の発問「見方を変えて」、「つなげよう」では、他教材との比較・関連といったアプローチから学習した内容を多面的に考察することが提案されていたり、現代的な課題について学びを広げる教材「まなびをプラス」が用意されているなど、生徒の多様な見方や考え方を促し、より深く考えられるよう、よく工夫されている。

各学年の1つ目の教材「道徳の学習を始めよう」では、他者と学ぶことの大切さについて分かりやすくまとめられており、生徒が話し合い活動等の学習のイメージがもちやすい。自ら問いを立てる活動や問い合うことを楽しむ活動が用意されており、主体的・対話的に学習に取り組めるよう工夫されている。

教材に関して、現代的な課題については、生命の尊重に関する教材が1学期ごとに1つずつ、全学年で位置付けられている。それぞれが様々なユニットに属しており、多面的・多角的に考えられ、感動を覚えられるよう工夫されている。また、人間としての生き方を考える教材については、呵責に悩み続けるプロのフォト・ジャーナリストの姿から、それについて考える教材を用意する等、生徒が自らの将来に目を向け、よりよく生きることの価値や喜びを感じられるよう工夫されている。

- 日本文教出版「中学道徳 あすを生きる 1」「中学道徳 あすを生きる 1 道徳ノート」  
「中学道徳 あすを生きる 2」「中学道徳 あすを生きる 2 道徳ノート」  
「中学道徳 あすを生きる 3」「中学道徳 あすを生きる 3 道徳ノート」

各学年巻頭の「道徳科での学びを始めよう！」では、漫画を用いて「気づく」、「考える・議論する・深める」、「見つめる・生かす」の学習の流れが示されているとともに、プレ授業をするミニ教材が用意されており、生徒が道徳科の授業のイメージをもちやすい。また、各教材には主題名に加え、登場人物の顔写真やイラストが提示されており、教材理解を助けている。教材末では、道徳的価値に迫るための発問「考えてみよう」と、自己を見つめる発問「自分にプラスワン」の2問が設定されるなど、生徒が段階的に考えを深められるよう工夫されている。

問題解決的な学習や体験的な学習を設定する教材の後に、特設ページ「学びを深めよう」やコラム「視野を広げて」が用意されるとともに、「学習を深めるヒント」で思考ツール等の話し合いを深める手立てが掲載されるなど、生徒が多面的・多角的に考えを深められるよう工夫されており、優れている。

各教材末の「考えてみよう」、「自分にプラスワン」は、学習した内容を自分に対して問いかけ、これからの生き方につながるような発問になっており、生徒が多様な視点から考えを深められるよう工夫されている。また、コラム「視野を広げて」や「学びを深めよう」のページが適宜配置され、生徒の多様な見方・考え方を促し、より深く、視野を広げて考えられるよう、よく工夫されている。

各学年巻頭の「道徳科での学びを始めよう！」では、学習の流れと共に、話し合い活動で大切にしたいことが示されており、生徒が主体的・対話的に学習に取り組めるよう工夫されている。

教材に関して、現代的な課題については、いじめの未然防止が全学年で最も重要なテーマとして設定されており、ユニット「いじめと向き合う」を、いじめ発生率が高い時期に配置している。登場人物に自我関与しながら多面的・多角的に考えることができる教材もあり、爽やかな結末を示すことで感動を覚える工夫がされている。また、「よりよく生きる喜び」の内容項目について、実在する人物の生き方から人間として生きる喜びや勇気について考えられるように工夫されているが、人間の弱さや醜さについて考えるには身近ではなく、葛藤場面について考えられる工夫は弱い。

- Gakken「新版 中学生の道徳 明日への扉 1」「新版 中学生の道徳 明日への扉 2」  
「新版 中学生の道徳 明日への扉 3」

各学年巻頭の「道徳科で学ぶこと考えること」では、「考えを深める4つのステップ」として、考える視点や話し合い活動、振り返り活動等についてイラストを用いて、分かりやすく示すなど、生徒が道徳科の授業のイメージをもちやすく、また、主体的・対話的に学習に取り組めるよう構成されている。さらに、各教材の冒頭に、主題名を示さない代わりに、生徒自らの気付きや考えを促すキーフレーズが用意されており、学習に取り組みやすい。各教材末には「考えよう」として道徳的価値に迫るための発問や、自己を見つめる発問等が2問設定されるなど、生徒が多様な視点から段階的に考えを深め、これからの生き方につながるよう工夫されている。

各学年で複数設定される「深めよう」のページでは、思考ツールや役割演技等の多様な活動が用意されており、生徒が道徳的価値を理解できるよう工夫されている。また、教材理解を深める関連資料や考えをさらに深める活動が掲載されている「クローズアップ」のページが適宜配置され、生徒の多様な見方・考え方を促し、より深く、より視野を広げて考えられるようよく工夫されている。

教材に関して、現代的な課題については、いのちの教育を最重点テーマとし、「生命の尊重」の

内容項目について全学年で3つずつ教材を配当している。生命倫理について、漫画の教材を用いたり、写真を挿入したりすることで主人公に自我関与しやすくするなど、「自分の命」だけでなく、「他者の命」、「それらを支える様々な命」など、様々な観点を通して、多様な考えをもち、感動を覚える工夫がされている。メンタルトレーニングや自己肯定感などの特設ページも併せ、生徒が自他の生命を尊重し、他者とよりよく生きることについて考えられるよう工夫されている。また、人間としての生き方を考える教材については、各学年で、「自己肯定感」、「認知バイアス」について取り上げ、悩みや葛藤などの心の揺れ、人間関係の理解等、深く考えることができるよう工夫されている。

#### ■あかつき教育図書「中学生の道徳 1」「中学生の道徳 2」「中学生の道徳 3」

各学年巻頭で、道徳科で考えること、話し合うことの意味が各学年別の生徒に宛てたメッセージと共に紹介されており、生徒が見通しをもって学習できるよう工夫されている。また、各学年の1つ目の教材が、学年ごとのテーマについて考えられるものとなっており、1年間の学習の見通しをもてる工夫がされている。各教材末には、吹き出しで「〇〇について考えよう」などと、視点も明確に示された上で、学習を広げたり、自分を見つめたり、いろいろな見方で考えたり、考えを深めたりする動機付けとなる問いが2問設定され、さらに、「自分との対話」という生き方を考える発問も設定されているなど、生徒が考えを深められるよう工夫されている。

各学年に3カ所設定されている「マイ・プラス」では、役割演技や問題解決的な学習、体験的な学習を取り入れ、生徒が様々な立場で想像したり考えたりできるような問いが設定されており、多様な指導方法を用いて、生徒が道徳的価値の理解を深められるよう、よく工夫されている。

各教材末の発問「自分を見つめて考える」、「考えを深める」では、生徒が自分事として考えながら、多様な視点から考えを深められるよう工夫されている。また補助発問「自分との対話」、コラム「Thinking」や、多様な学習活動を提示する「マイ・プラス」のページが適宜配置され、生徒の多様な見方・考え方を促し、より深く、より視野を広げて考えられるようよく工夫されている。

各学年巻頭に、道徳科の授業の目的と共に、考え、話し合い、書く活動等を通して、自己理解を深めていくことの大切さが分かりやすく解説されているなど、生徒が主体的・対話的な学習に取り組めるよう構成されている。

教材に関して、現代的な課題については、いじめ問題、情報モラル、共生社会、キャリア教育の4つのテーマをユニット化し、生徒が発達段階に応じて重点的かつ多様な視点から考えられるよう工夫されている。いじめ問題に関する教材では、いじめについて色々な学年の子どもが書いた詩を基に、内容項目の4つの視点で考えてみるなど、多様な考えをもつことで心が揺さぶられるよう工夫されている。また、人間としての生き方を考える教材については、よりよく生きる喜びに関する教材が、各学年3つずつ用意されており、生徒にとって自我関与しやすく、心の中にある弱さや醜さについて理解しやすい。そして、弱さを克服した主人公を取り上げた教材後の「Thinking」では、生徒の心に響くような詩が用意されるなど、自分の生き方について深く考えられるようよく工夫がされている。

#### ■日本教科書「道徳 中学1 生き方から学ぶ」「道徳 中学2 生き方を見つめる」

##### 「道徳 中学3 生き方を創造する」

各学年の巻頭には、道徳科の学習のあり方が示されているが、1年生の巻頭では考え、議論する

ことで道徳科の授業が進められることが解説され、2年生・3年生の巻頭では前学年の授業を振り返る形で、道徳科の学習で大切にしたいことが示されていることで、生徒が学習のイメージをもって、主体的・対話的な学習に取り組めるよう構成されている。短い教材も用意されており、生徒が道徳科の授業のイメージをもちやすい。一方、各教材には、主題等が示されておらず、生徒が教材の内容を捉えにくく、また、各教材末に、「考えよう」、「深めよう」という道徳的価値に迫るための発問が2問設定されているが、1問しか設定されていない教材もあるなど、生徒にとって使いづらく、段階的な学びの手立てとして弱い。

問題解決的な学習や体験的な学習が設定された教材や、そうした学習へと誘導することを意図した教材が複数用意されているものの、具体的な学習の手立てが少なく、生徒にとって使いづらい。

多様な見方や考え方を促すため、「希望」、「感謝」等の言葉とアイコンが印刷された「ウェルビーイングカード」が用意されており、自分の考えを明確にして、どのような価値を大事にしているのかを意識したり、それについて生徒同士で議論したりすることができるようよく工夫されている。

教材に関して、現代的な課題については、全学年において、いじめの問題に向き合う直接的な教材といじめにつながりかねない間接的な教材とが設定されており、生徒が多面的・多角的に考えられるよう配慮されていたり、いじめに関わる様々な立場の意見から考える教材では、多様な視点で考え、心が揺さぶられるよう工夫されている。また、人間としての生き方を考える教材については、先人・著名人の生き方から生きる勇気や知恵などを感じ、気高さだけでなく、人間の弱さ、醜さを吐露する姿など、生きることの魅力やその意味の深さについて考える教材が数多く掲載されており、生徒が悩みや葛藤、心の揺れなど人間としての生き方について深く考えられるよう工夫されている。

※詳細の結果・データは、観点別資料及び観点別・視点別評価資料に記載。

選定の観点		選定の視点		東京書籍	教育出版	光村図書	日本文教出版	Gakken	あかつき	日本教科書
1	発達段階に即した学習のねらい・目標や適切な振り返り活動の設定など、生徒が道徳的な成長を実感でき、道徳的な判断力、心情、実践意欲と態度を身に付けられるよう工夫・配慮がなされていること。	1	適切なねらいの設定及びねらいに迫るための発問等の工夫	◎	○	◎	○	○	○	△
		2	自己を見つめ、考えを深めることができるような振り返り活動やまとめの工夫	○	◎	○	○	◎	○	△
2	道徳的価値について広い視野から多面的・多角的に考えられるよう、生徒が主体的・対話的に学習に取り組むための言語活動や問題解決的な学習、道徳的行為に関する体験的な学習等の多様な指導方法が工夫され、「考え・議論する道徳」の学習活動が展開しやすいこと。	1	道徳的価値を広い視野から多面的・多角的に学ぶための工夫	◎	○	◎	◎	○	◎	△
		2	主体的・対話的な学習に向けた言語活動の工夫	◎	○	○	○	○	○	○
		3	問題解決的な学習、体験的な学習等の多様な指導方法の工夫	◎	○	○	◎	○	◎	△
3	教材に応じて、読み物資料に加え、多様で適切な挿絵や写真等が豊富に用いられるとともに、生徒が特定の見方や考え方に偏ることなく、多様な見方や考え方ができるよう工夫・配慮がなされていること。また、ICT機器の活用も含め、個別最適な学びと協働的な学びを展開しやすいよう工夫・配慮されていること。	1	多様で適切な挿絵や写真、イラスト等の充実	○	○	○	○	○	○	△
		2	多様な見方・考え方ができるよう工夫・配慮	◎	○	◎	◎	◎	◎	◎
		3	ICT機器を活用するなど、個別最適な学びと協働的な学びを展開するための工夫	○	○	○	○	○	△	△
4	生命の尊厳、社会参画、自然、伝統と文化、先人の伝記、スポーツ、情報化への対応等の現代的な課題等を題材とし、生徒が物事に対して多様な考えをもつことができたり、感動を覚えたりするよう工夫・配慮がなされていること。	1	現代的な課題を題材とする教材の適切な取扱い	○	○	○	○	○	○	○
		2	現代的な課題に対して多様な考えをもち、感動を覚えるような工夫	○	○	○	○	○	○	○
5	生徒が人権の重要性を学び、また、道徳的な問題において、悩みや葛藤等の心の揺れ、人間関係の理解等の課題も含め、深く考え、人間としての生き方について考察できるなど、基本的な人権の尊重の精神及びよりよく生きる喜びや勇気をもてるよう、工夫・配慮がなされていること。	1	生命の尊さ、人間尊重の精神を培うための工夫	○	○	○	○	○	○	○
		2	法やきまりの意義、人間関係の理解や課題について深く考えられる工夫	○	○	○	○	○	◎	○
		3	悩みや葛藤等、よりよく生きる喜びや勇気について深く考えられる工夫	◎	○	○	△	○	◎	○
6	系統的・発展的に学習しやすい教材構成であることに加え、他教科等の学習内容との関連や現代的な教育諸課題との関連が想起しやすく、また他校種との接続や家庭・地域との連携についても工夫・配慮がなされていること。	1	教材の系統性・発展性	○	○	○	○	○	○	△
		2	他教科や教育課題等との関連	○	○	○	○	△	○	△
		3	他校種との連携	○	○	○	○	△	○	△
		4	家庭・地域との連携	○	△	○	○	○	○	○
7	表記、表現、写真、図表等が適切かつ正確であることに加え、ユニバーサルデザインの観点から、文字フォント、色の使用、紙面の構成等において見やすく読みやすいよう工夫・配慮がなされていること。また、再生紙の使用や環境に優しいインクの使用等環境への配慮がなされていること。	1	文字や写真、図表等の適切さ、正確性、使いやすさ	○	○	○	○	○	○	○
		2	ユニバーサルデザインの視点	○	○	○	○	○	○	○
		3	装丁や編集の適切さ、堅牢性の工夫	○	○	○	△	○	○	○
		4	用紙、インク等の環境面への配慮	○	○	○	○	○	○	○

【特別の教科 道徳】観点別資料

【選定の観点1】

発達段階に即した学習のねらい・目標や適切な振り返り活動の設定など、生徒が道徳的な成長を実感でき、道徳的な判断力、心情、実践意欲と態度を身に付けられるよう工夫・配慮がなされていること。

発行者名						
2 東書	17 教出	38 光村	116 日文	224 Gakken	232 あかつき	233 日科
<p>○各学年の巻頭に漫画を用いた実際の授業場面の紹介されているのに加え、1つ目の教材の最後には「学習の流れ」として、その教材の発問を取り入れながら具体的な授業の流れのステップが示されているため、生徒が道徳科の授業の目的や流れを確認し、自分の考えを深めるイメージをもちやすい。また、各教材では、生徒に投げかける表現でテーマが示されるとともに、各教材末には、中心発問である「考えよう」、「見つめよう」の2つの発問と合わせて「ぐっと深めよう」が用意されるなど、考えをより深められるようよく工夫されている。</p> <p>○各教材に自分の考えや思いを自由に記述する欄が用意されている。また、各学年の巻頭には、今の自分の気持ちを書き留めておく記述欄が、巻末には、学期毎の自分の学びを振り返るための記述欄が特設ページに用意されるなど、話し合い活動、振り返り活動等で幅広く活用でき、工夫されている。</p>	<p>○各学年巻頭の「さあ、道徳を始めよう！」では「問題に気づく」、「考え、話し合う」、「深める」、「つなぐ」の4つの学習の流れが示されており、生徒が道徳科の授業のイメージをもちやすい。また、各教材の冒頭に、学習のねらいの意識付けを行うための導入文が疑問文の形で示されるとともに、各教材末の「学びの道しるべ」には、道徳的価値の理解を深め、自己を見つめる発問が3問用意されており、導入文と併せて連携させることで、生徒が考えの変化を実感しやすく、段階的に考えを深められるよう構成されている。</p> <p>○各学年の巻末には、学期毎の学びを振り返るための特設ページが用意されており、生徒が自らの成長を実感しやすい。また、各学年の巻末に「よりよく生きるって、どういうことだろう？」という3学年統一のページが用意され、3年間でどのように生徒の考えが変化したのかが分かるようよく工夫されている。</p>	<p>○各学年の1つ目の教材「道徳の学習を始めよう」と2つ目の教材「道徳で大切にしたいこと」では、道徳科での学習方法や考えの深め方が示されており、自分の考えを深める手立てとなるよう工夫されている。また、題材の最初に内容項目が提示され、各教材に関する発問の後には、「見方を変えて(多面的・多角的な見方・考え方)」、「つなげよう(学びの広がり・深化)」が、分かりやすく区別して設定されており、段階的に考えを深められるようよく工夫されている。</p> <p>○各学年巻末に「1年間の学びを振り返ろう」として、学びを振り返り、自らの成長やこれからの生き方を見つめる教材と活動が用意されている。また、巻末の折込資料には、毎授業の学びをつなげて記録し、学期末や学年末に振り返るシートに加え、1年間3学年統一のページが用意され、3年間でどのように生徒の考えが変化したのかが分かるようよく工夫されている。</p>	<p>○各学年巻頭の「道徳科での学びを始めよう！」では、漫画を用いて「気づく」、「考える・議論する・深める」、「見つける・生かす」の学習の流れが示されているとともに、プレ授業をするミニ教材が用意されており、生徒が道徳科の授業のイメージをもちやすい。また、各教材には主題名に加え、登場人物の顔写真やイラストが提示されており、教材理解を助けている。教材末では、道徳的価値に迫るための発問「考えてみよう」と、自己を見つめる発問「自分にプラスワン」の2問が設定されるなど、生徒が段階的に考えを深められるよう工夫されている。</p> <p>○別冊「道徳ノート」の各学年巻末には、「道徳科で学んだことを振り返ってみよう」として、学期ごとに学んだことを振り返る記録ページが設けられており、毎授業の記録欄と併せて、振り返り活動等で幅広く活用できるよう工夫されている。</p>	<p>○各学年巻頭の「道徳科で学ぶこと考えること」では、イラストを用いて「考えを深める4つのステップ」を紹介するなど、生徒が道徳科の授業のイメージをもちやすい。また、各教材の冒頭に、主題名を示さない代わりに、生徒自らの気づきや考えを促すキーワードが用意されており、学習に取り組みやすい。各教材末には「考えよう」として道徳的価値に迫るための発問や自己を見つめる発問等が2問設定されるなど、生徒が段階的に考えを深められるよう工夫されている。</p> <p>○各教材に自由記述欄「メモ」が用意されている。また、各学年の巻頭には、生徒が今の自分のことを書く欄が、巻末には、心に残ったことなど1年を振り返って書き留めておける「未来への扉」や、毎授業の学びをつなげて記録し、学期末に振り返る「学習の記録」が用意されるなど、事前学習、話し合い活動、振り返り活動等で幅広く活用でき、優れている。</p>	<p>○各学年巻頭で、道徳科で考えること、話し合うことの意味が各学年別の生徒に宛てたメッセージと共に紹介されており、生徒が見通しをもって学習できるよう工夫されている。また、各学年の1つ目の教材が、学年ごとのテーマについて考えられるものとなっており、1年間の学習の見通しをもてる工夫がされている。各教材末には、吹き出しで「〇〇について考えよう」などと、視点も明確に示された上で、学習を広げたり、自分を見つめたり、いろいろな見方で考えたり、考えを深めたりする動機付けとなる問いが2問設定され、さらに、「自分との対話」という生き方を考える発問も設定されているなど、生徒が考えを深められるよう工夫されている。</p> <p>○各学年の巻末には、各学期や1年間の振り返りを記入するページが設けられており、生徒が自らの成長を実感しやすいく。</p>	<p>○1年生の巻頭では考え、議論することで道徳科の授業が進められることを解説し、2・3年生の巻頭では前学年の授業を振り返る形で、道徳科の学習で大切にしたいことを示している。短い教材も用意されており、生徒が道徳科の授業のイメージをもちやすい。一方、各教材には、主題等が示されておらず、生徒が教材の内容を捉えにくく、また、各教材末に「考えよう」、「深めよう」という道徳的価値に迫るための発問が2問設定されているが、1問しか設定されていない教材もあるなど、生徒にとって使いづらく、段階的な学びの手立てとして弱い。</p> <p>○各教材に自由記述欄が用意されているが、生徒が1年間の学習の振り返りができる構成がされていないため、自らの成長を実感することが難しい。</p>



【選定の観点2】

道徳的価値について広い視野から多面的・多角的に考えられるよう、生徒が主体的・対話的に学習に取り組むための言語活動や問題解決的な学習、道徳的行為に関する体験的な学習等の多様な指導方法が工夫され、「考え・議論する道徳」の学習活動が展開しやすいこと。

発行者名						
2 東書	17 教出	38 光村	116 日文	224 Gakken	232 あかつき	233 日科
<p>○各教材には学習テーマが示されており、また、複数の教材では主題に関連する1コマ漫画が掲載されるなど、導入で主題が捉えやすい。また、中心発問等と関連させて終末の振り返りで活用することで、多面的・多角的な学習が促されるようよく工夫されている。</p> <p>○「心情円」が用意されており、自分の考えを表し、対話する活動につなげられるよう工夫されている。また全学年で、コラム「探究の対話p4c」が掲載されていたり、教材「道徳×防災」では、立場を分けて議論する活動が設定されるなど、「考え・議論する道徳」の学習活動が展開しやすいようよく工夫されている。</p> <p>○各学年に、2時間連続した問題解決的な学習や、役割演技等の体験的な学習を行う「plus」が複数用意されている。役割を演じて考えを伝え合うだけでなく、それぞれの立場で問題解決的に考えることで深い学びへと向かえるよう、よく工夫されている。</p>	<p>○各教材末の「学びの道しるべ」では、3段階の発問が設定されており、教材の冒頭の導入文とあわせて自己を見つめたり、自我関与を促したり、グループ活動や意見交換、話し合い活動を取り入れたりするなど、生徒が多面的・多角的に学びを広げられるよう工夫されている。</p> <p>○各学年巻頭の「さあ、道徳を始めよう!」では、学習の流れと共に、生徒が意見を出し合うイラストが掲載されるなど、他者との話し合いの中で自分の考えを深めることがイメージでき、生徒が主体的・対話的に学習に取り組めるよう工夫されている。</p> <p>○各学年に、問題解決的な学習や、「やってみよう」では話し合い活動や役割演技等、体験的な学習が複数設けられており、生徒が日常の体験を想起しながら、多様な指導方法を用いて、考えを深められるよう工夫されている。</p>	<p>○各教材の「手引き」において、学習のめあてや複数の発問が示されており、まとめ活動も設定されている。また、「見方を変えて」、「つなげよう」として、切り口を変えた問いや他教科・教材等との関連が示されるなど、生徒が多面的・多角的に学びを広げられるようよく工夫されている。</p> <p>○各学年の1つ目の教材「道徳の学習を始めよう」では、他者と学ぶことの大切さについて分かりやすくまとめられており、生徒が話し合い活動等の学習のイメージがもちやすい。自ら問いを立てる活動や問い合うことを楽しむ活動が用意されており、主体的・対話的に学習に取り組めるよう工夫されている。</p> <p>○各教材の「手引き」のうち、問題解決的な学習や役割演技を促す「チャレンジ」が複数用意されている。「演じて考えよう」の手引きでは、吹き出しの空欄に言葉を入れて演技をすることで、気持ちを考えることを通して生き方を考えられるよう、工夫されている。</p>	<p>○各教材に「考えてみよう」「自分にプラスワン」という2つの活動・発問が設けられているだけでなく、「学びを深めるヒント」として、思考ツールを使うことで道徳的価値を多面的・多角的に学び、考えを深められるようよく工夫されている。</p> <p>○各学年巻頭の「道徳科での学びを始めよう!」では、道徳科の学習の流れや話し合い活動で大切にしたいことが示されており、生徒が主体的・対話的に学習に取り組めるよう工夫されている。</p> <p>○問題解決的な学習や体験的な学習を設定する教材の後に、特設ページ「学びを深めよう」やコラム「視野を広げて」が用意されるとともに、「学習を深めるヒント」で思考ツール等の話し合いを深める手立てが掲載されるなど、多様な活動によって生徒が考えを深められるよう工夫されており、優れている。</p>	<p>○教材に適宜設定されている特設ページ「クローズアップ」では、教材理解を深める関連資料や、異なる視点から考える手立てとなる複数の関連資料等が用意されており、生徒が多面的・多角的に学びを広げられるよう工夫されている。</p> <p>○各学年巻頭に、考える方法や「考えを深める4つのステップ」として、考える視点や話し合い活動、振り返り活動等についてイラストを用いて、分かりやすく示しており、生徒が主体的・対話的に学習に取り組めるよう構成されている。</p> <p>○各学年で複数設定される「深めよう」のページでは、思考ツールや役割演技等の多様な活動が用意されており、生徒が道徳的価値を理解できるよう、工夫されている。</p>	<p>○各教材において、「自分を見つめて考える(自我関与に関する問い)」または、「いろいろな見方で考える(物事を多面的・多角的に捉えるための問い)」の後に、「考えを深める」で思考を促すことができる問いが設定されている。さらに、人間としての生き方を考える発問「自分との対話」では、自分自身や道徳的価値について問い直す問いも用意されるなど、よく工夫されている。</p> <p>○各学年巻頭に、道徳科の授業の目的と共に、考え、話し合い、書く活動等を通して、自己理解を深めていくことの大切さが分かりやすく解説されているなど、生徒が主体的・対話的な学習に取り組めるよう構成されている。</p> <p>○各学年に3カ所設定されている「マイ・プラス」では、役割演技や問題解決的な学習、体験的な学習を取り入れ、様々な立場で想像したり考えたりできるような問いが設定されており、多様な指導方法を用いて、生徒が道徳的価値の理解を深められるようよく工夫されている。</p>	<p>○複数の人物がそれぞれの立場で考えを述べ合う教材が用意され、多面的・多角的な思考が促されている。また、各教材末に、生徒が考え、議論するための発問が複数設定されているが、用意される発問数が1つしかない教材があり、発問内容も学びの深まりにつながらないものが多いなど、手立てが弱い。</p> <p>○各学年巻頭に、道徳科の学習のあり方が示されており、生徒が学習のイメージをもって、主体的・対話的な学習に取り組めるよう構成されている。また、「希望」、「感謝」等の言葉とアイコンが印刷された「ウェルビーイングカード」が用意されており、活用することで、自分の考えを明確にし、他者との話し合いを促す工夫がされている。</p> <p>○問題解決的な学習や体験的な学習が設定された教材や、そうした学習へと誘導することを意図した教材が複数用意されているものの、具体的な学習の手立てが少なく、生徒にとって使いづら</p>

【選定の観点3】

教材に応じて、読み物資料に加え、多様で適切な挿絵や写真等が豊富に用いられるとともに、生徒が特定の見方や考え方に偏ることなく、多様な見方や考え方ができるよう工夫・配慮がなされていること。また、ICT機器の活用も含め、個別最適な学びと協働的な学びを展開しやすい工夫・配慮されていること。

発行者名						
2 東書	17 教出	38 光村	116 日文	224 Gakken	232 あかつき	233 日科
<p>○表情豊かで、ダイナミックな構成の写真やイラストが豊富に用いられており、生徒が人物の心情を捉えたり、教材の内容理解を深めたりしやすい工夫されている。</p> <p>○「plus」では、詩・歌、格言等、教材に関連する資料等が幅広く紹介されているとともに、「探究の対話p4c」として、対話を通して他者と問いを共有し、様々な視点から考えを深めていく活動が取り入れられるなど、工夫されている。また、多様な見方や考え方を促すため、同じ視点の内容で異なる教材が連続して複数配置されるなど、生徒が幅広い視野から、より深く考えられるようよく工夫されている。</p> <p>○各学年の巻頭「デジタルコンテンツで学びを広げよう」では、ICT機器を活用して個別最適な学びと協働的な学びができるよう示されている。</p>	<p>○大きめの挿絵に加え、写真やイラストも適切な分量である。また、余白を調整することで、見やすい紙面となるよう工夫されている。</p> <p>○本教材と同じ内容項目を異なる視点から扱う読み物資料など、補充教材が各学年に5本用意されている。また、現代的な課題をテーマとするコラム「ひろば」が適宜配置されているなど、生徒の多様な見方や考え方を促し、工夫されている。</p> <p>○各学年の巻頭の「さあ、道徳を始めよう！」の「道徳科の学びをもっとひろげよう」では、学習者用端末を活用して考えを整理したり、共有したりすることが示されており、ICT機器の活用に対応されている。また、学びを振り返って自分の考えをまとめる際の方法として、文章以外にも図や絵での表現について示したり、多様な考えを交流し合う話し合いのポイントを示したりするなど、個別最適な学びと協働的な学びに資するよう工夫されている。</p>	<p>○生徒の興味・関心を喚起する漫画形式の教材や新聞記事、絵本を転写した教材や、親しみを感じるイラスト等を用いることで、学習に取り組みやすい工夫されている。</p> <p>○各教材の発問「見方を変えて」、「つなげよう」では、他教材との比較・関連といったアプローチから学習した内容を多面的に考察することが提案されている。また、「まなびをプラス」では、現代的な課題について学びを広げる教材が用意されているなど、生徒の多様な見方や考え方を促し、より深く考えられるようよく工夫されている。</p> <p>○各学年の巻頭「本書で学ぶ皆さんへ」では、端末を使用することで情報収集ができたり、自分の考えをまとめ、表現したり、他者と考えを共有することで新たな気付きが得られることなどが示されており、ICT機器を活用した個別最適な学びと協働的な学びが意識されている。</p>	<p>○教材理解をより促すために、教材に対する挿絵や写真が豊富である。また、教材や内容ごとに色を使い分けたり、別冊ノートの各欄には、本冊教材と同じ挿絵や写真を掲載したりすることで、生徒が本文の内容を想起できるよう工夫されている。</p> <p>○各教材末の「考えてみよう」、「自分にプラス」は、学習した内容を自分に対して問いかけ、これからの生き方につながるような発問になっており、生徒が多様な視点から考えを深められるよう工夫されている。また、コラム「視野を広げて」や「学びを深めよう」のページが適宜配置され、生徒の多様な見方・考え方を促し、より深く、より視野を広げて考えられるようよく工夫されている。</p> <p>○端末を使用する生徒のイラストが掲載されていたり、「学びを深めるヒント」のページでは端末上の付箋機能を使って意見を整理しながら話し合う活動が例示されるなど、ICT機器の利用について配慮されている。</p>	<p>○教材に応じた絵画的な挿絵や漫画風の挿絵を使用しており、教材の展開や人物の心情などを捉えやすいよう構成されている。また、教材や内容ごとに色を使い分け、生徒が教材の内容理解を深められるよう工夫されている。</p> <p>○各教材末の「自分を見つめて考える」、「考えを深める」では、生徒が自分事として考えながら、多様な視点から考えを深められるよう工夫されている。また補助発問「自分との対話」、コラム「Thinking」や、多様な学習活動を提示する「マイプラス」のページが適宜配置され、生徒の多様な見方・考え方を促し、より深く、より視野を広げて考えられるようよく工夫されている。</p> <p>○ICT機器を利用した話し合い活動等が示されていない。</p>	<p>○教材に対する挿絵や写真が豊富であり、また、教材や内容ごとに色を使い分けたり、文字サイズを変えたりと生徒が教材の内容理解を深められるよう工夫されている。</p> <p>○各教材末の発問「自分を見つめて考える」、「考えを深める」では、生徒が自分事として考えながら、多様な視点から考えを深められるよう工夫されている。また補助発問「自分との対話」、コラム「Thinking」や、多様な学習活動を提示する「マイプラス」のページが適宜配置され、生徒の多様な見方・考え方を促し、より深く、より視野を広げて考えられるようよく工夫されている。</p> <p>○ICT機器を利用した話し合い活動等が示されていない。</p>	<p>○教材に応じた絵画的な挿絵や漫画風の挿絵を使用しており、教材の展開や人物の心情などを捉えやすいよう構成されている。また、事実を伝えるために、効果的に写真と挿絵を併用した構成になっており、工夫されている。しかし、画素数が粗く、見づらい写真やイラストが複数ある。</p> <p>○多様な見方や考え方を促すため、「ウェルビーイングカード」が用意されており、どのような価値を大事にしているのかを意識したり、それについて生徒同士で議論したりすることができるようよく工夫されている。</p> <p>○ICT機器を利用した話し合い活動等が示されていない。</p>

【選定の観点4】

生命の尊厳、社会参画、自然、伝統と文化、先人の伝記、スポーツ、情報化への対応等の現代的な課題等を題材とし、生徒が物事に対して多様な考えをもつことができたり、感動を覚えたりするよう工夫・配慮がなされていること。

発行者名						
2 東書	17 教出	38 光村	116 日文	224 Gakken	232 あかつき	233 日科
<p>○いじめの防止、生命の尊厳、自己肯定感、情報モラル、防災や安全、伝統文化、先人の伝記、国際理解、SDGs等、様々なテーマがバランスよく設定されており、生徒が多様に考えを深められるよう工夫されている。</p> <p>○現代的な課題に関する教材について、ユニット「いじめのない世界へ」と「いのちを考える」を全学年に設けている。イラスト・読み物・漫画教材を通して生徒が多面的・多角的に考えられるように工夫されている。「いのちを考える」のユニットでは、いのちについて多様な考えをもてるように3つの教材を配置しており、読み物資料「plus」等も含め、全体として感動を覚えるような工夫がされている。</p>	<p>○いじめの防止、生命の尊厳、情報モラル、防災や安全、伝統文化、先人の伝記、スポーツ、SDGs、多様性の尊重等、様々なテーマがバランスよく設定されており、生徒が多様に考えを深められるよう工夫されている。</p> <p>○現代的な課題に関する教材について、「いじめをなくそう」、「いのちをかがやかせよう」をテーマとし、複数の教材とコラム「ひろば」を組み合わせたユニットを設定している。「いのちをかがやかせよう」のユニットでは、生徒が問題の本質について多面的・多角的に考えを深める中で、感動を覚えられるように工夫されている。</p>	<p>○生命の尊重、ジェンダー、いじめ問題、情報モラル、伝統文化、国際理解、環境教育、キャリア教育、防災や安全等、様々なテーマがバランスよく設定されており、生徒が多様に考えを深められるよう工夫されている。</p> <p>○現代的な課題のうち、生命の尊重に関する教材が1学期ごとに1つずつ、全学年で位置付けられている。それぞれが様々なユニットに属しており、多面的・多角的に考えられ、感動を覚えられるよう工夫されている。</p>	<p>○いじめの防止、安全の確保、情報モラル、生命倫理、SDGs、キャリア教育、伝統文化、国際理解等、様々なテーマがバランスよく設定されており、生徒が多様に考えを深められるよう工夫されている。</p> <p>○現代的な課題に関する教材について、いじめの未然防止が全学年で最も重要なテーマとして設定されており、ユニット「いじめと向き合う」を、いじめ発生率が高い時期に配置している。登場人物に自我関与しながら多面的・多角的に考えることができる教材もあり、爽やかな結末を示すことで感動を覚える工夫がされている。</p>	<p>○人権・福祉教育、法教育、キャリア教育、生命倫理、食育、防災教育、スポーツ等、様々なテーマがバランスよく設定されており、生徒が多様に考えを深められるよう工夫されている。</p> <p>○現代的な課題に関する教材について、いのちの教育を最重点テーマとし、「生命の尊重」の内容項目について全学年で3つずつ教材を配当している。生命倫理について、漫画の教材を用いたり、写真を挿入したりすることで主人公に自我関与しやすくするなど、多様な考えをもつこと、感動を覚える工夫がされている。</p>	<p>○いじめ防止、生命の尊重、情報モラル、共生社会、国際理解、キャリア教育、伝統文化、防災、環境、スポーツ等、様々なテーマがバランスよく設定されており、生徒が多様に考えを深められるよう工夫されている。</p> <p>○現代的な課題に関する教材について、いじめ問題、情報モラル、共生社会、キャリア教育の4つのテーマをユニット化し、生徒が発達段階に応じて重点的かつ多様な視点から考えられるよう工夫されている。いじめ問題に関する教材では、いじめについて色々な学年の子どもが書いた詩を基に、内容項目の4つの視点で考えてみるなど、多様な考えをもつことで心が揺さぶられるよう工夫されている。</p>	<p>○いじめ防止、人権・福祉・ジェンダー、情報モラル、キャリア形成、生命の尊重、国際理解、環境等、様々なテーマがバランスよく設定されており、生徒が多様に考えを深められるよう工夫されている。</p> <p>○現代的な課題に関する教材について、全学年において、いじめの問題に向き合う直接的な教材といじめにつながるかねない間接的な教材とが設定されており、生徒が多面的・多角的に考えられるよう配慮されている。また、いじめに関わる様々な立場の意見から考える教材では、多様な視点で考え、心が揺さぶられるよう工夫されている。</p>

【選定の観点5】

生徒が人権の重要性を学び、また、道徳的な問題において、悩みや葛藤等の心の揺れ、人間関係の理解等の課題も含め、深く考え、人間としての生き方について考察できるなど、基本的人権の尊重の精神及びよりよく生きる喜びや勇気をもてるよう、工夫・配慮がなされていること。

発行者名						
2 東書	17 教出	38 光村	116 日文	224 Gakken	232 あかつき	233 日科
<p>○全学年を通して、人権尊重について認識を深め、多様性を尊重する態度を養う教材が充実しており、様々な人の考えを知ることによって自己肯定感の向上を図り、誰もが活躍できる社会の創造について考え、また、人権・福祉の合理的配慮に関わる社会の様々な取組から、生徒がそれぞれの個性や立場を尊重する寛容の精神を身に付け、人権尊重の態度を養えるよう工夫されている。</p> <p>○電車内でのトラブルに対して、当事者やそこに居合わせた人間の対応について考える教材などで、役割演技を設定し、様々な立場で考えを深められるよう工夫されている。</p> <p>○お釣りの間違いを指摘しなかったときなど、身近な場面設定で自分を振り返った後、別の教材につなぎ、ねらいをより深められるよう学習の流れが工夫されるなど、生徒が人間の弱さや醜さに向き合い、よりよく生きることについて、重層的に考えられるよう工夫されている。</p>	<p>○全学年を通して、人間尊重の精神と生命に対する畏敬の念を培うことができる教材が重点的に配置されている。生徒の心を揺さぶる、優れた数多くの教材が体系的に配列されており、よりよく生きることや人間の気高さについて考えを深められるよう工夫されている。</p> <p>○宿泊学習でのお菓子の持参について議論する教材や、SNSの投稿ややり取りを想定して、ルールとマナーの違いと必要性について考える教材など、身近な題材で、きまりの意義について議論できるよう、工夫されている。</p> <p>○亡くなった父が子どもに残した手紙を題材にした教材や、震災からの復興をテーマにした教材、震災で母を亡くした少女が強く生きようとする姿から悩みを乗り越えた先にある、よりよく生きる喜びについて考える教材等が配置されるなど、生徒が人間としての生き方について深く考えられるよう工夫されている。</p>	<p>○全学年を通して、自他の人権を尊重し、人権に関する知識と人権を守る感覚を育む心の育成に重点が置かれている。3年生の教材では、人種等による差別や偏見を取り上げた教材と資料を組み合わせて複数時間取り組めるよう配列することで、生徒が生命の尊さ、人間尊重の精神について深く考えられるよう工夫されている。</p> <p>○みんなが納得できるルールについて考える教材の後に、納得のいかない暗黙のルールについて考える教材をつなげるなど、ルールの意義について深く考えられるよう工夫されている。</p> <p>○呵責に悩み続けるプロのフォト・ジャーナリストの姿から、人間としての生き方について考える教材を掲載するなど、生徒が自らの将来に目を向け、よりよく生きることの価値や喜びを感じられるよう工夫されている。</p>	<p>○全学年を通して、人権尊重の精神と生命の尊重を基本に、よりよい社会の実現について考えられるよう構成されており、関連する教材やコラムをユニット化するなど、生徒が自他の権利の尊重と義務を果たす大切さについて重点的に学習し、考えを深められるよう工夫されている。中でも、いじめに関する教材を複数掲載し、長期休み明けに学習できるよう工夫されている。</p> <p>○著作権や肖像権について考える教材や、鳥取砂丘を守る条例について考える教材、交通規則について考える教材など、ニュース等で触れる身近なものを取り上げ、きまりについて議論しやいよう工夫がされている。</p> <p>○「よりよく生きる喜び」の内容項目について、実在する人物の生き方から人間として生きる喜びや勇気について考えられるように工夫されているが、人間の弱さや醜さについて考えるには身近ではなく、葛藤場面について考えられる工夫は弱い。</p>	<p>○いのちの教育を全学年の重点テーマに掲げており、「自分の命」だけでなく、「他者の命」、「それらを支える様々な命」など様々な観点を通して考え、また、メンタルトレーニングや自己肯定感などの特設ページも併せ、生徒が自他の生命を尊重し、他者と共によりよく生きることについて考えられるよう工夫されている。</p> <p>○法やきまりについて、対立する意見を提示するなど、様々な観点から考えを深めることができる教材を用意しており、人間関係の理解や課題について考えられる工夫がされている。</p> <p>○各学年で、「自己肯定感」、「認知バイアス」について取り上げ、悩みや葛藤などの心の揺れ、人間関係の理解等、深く考えることができるよう工夫されている。</p>	<p>○全学年を通して、生命の尊重、基本的人権、思いやりの心など、生徒の人格の内面的な充実が図れるよう教材や発問が吟味・配慮されている。また、心揺さぶる感動教材が多数掲載されており、生徒がより深く、多面的に道徳的価値について考えられるよう工夫されている。</p> <p>○遵法精神の基盤となる「公德心」に関わる教材が多く取り扱われ、生徒にとって身近に感じて考えられるよう工夫されている。また、「Thinking」では教材内容と逆の事象を掲載することで、人間関係の理解や課題について深く考えられるよう、よく工夫されている。</p> <p>○よりよく生きる喜びに関する教材が、各学年3つずつ用意されており、生徒にとって自我関与しやすく、心の中にある弱さや醜さについて理解しやすい。また、弱さを克服した主人公を取り上げた教材後の「Thinking」では、生徒の心に響くような詩が用意されるなど、自分の生き方について深く考えられるよう工夫がされている。</p>	<p>○全学年を通して、多様な個性をもつ人間として生徒が社会において自立して生きていくために、自己判断の基盤となる道徳的価値観を形成するため、一人一人のキャリア形成と自己実現の学習と関連した教材や、人権、障害者理解、福祉、人間関係に係る教材の体系的な配列が工夫されている。</p> <p>○3年生で立法者としての視点でSNSの誹謗中傷とそれに係る法案について、賛成派と反対派の意見を考えることで、深く考えられる工夫がされている。また、自我関与しやすく、生徒の心が揺れる教材が扱われ、自分事として考えられる工夫がされている。</p> <p>○先人・著名人の生き方から生きる勇気や知恵などを感じ、気高さだけでなく、人間の弱さ、醜さを吐露する姿など、生きることの魅力やその意味の深さについて考える教材が数多く掲載されており、生徒が悩みや葛藤、心の揺れなど人間としての生き方について深く考えられるよう工夫されている。</p>

【選定の観点6-1】

系統的・発展的に学習しやすい教材構成であることに加え、他教科等の学習内容との関連や現代的な教育諸課題との関連が想起しやすく、また他校種との接続や家庭・地域との連携についても工夫・配慮がなされていること。

発行者名						
2 東書	17 教出	38 光村	116 日文	224 Gakken	232 あかつき	233 日科
<p>○学習指導要領総則に示された指導内容の重点化を踏まえた内容項目を扱う教材を各学年で複数設定しており、生徒の発達段階や学校の年間行事などを踏まえた教材配列で、系統的に学習が展開できるよう工夫されている。</p> <p>○社会科、理科、保健体育科、技術・家庭科と関連がある教材が多い。「plus」ではソーシャルスキルなどが取り上げられており、特別活動との接続を図ることができる。また、各教科等と関連する教材については、教科マークを教材冒頭に付すことで、生徒が他教科の学習内容との関連が想起しやすいよう工夫されている。また、巻末の「テーマでふり返ろう」で、各教材と現代的な課題との関連を示すとともに、「教材一覧表」で関係する主なテーマが記載されている。</p>	<p>○全学年を通して取り組みやすさを重視しており、生徒が無理なく学習できるよう、短い教材や内容が見てすぐに分かる教材を積極的に掲載しており、考え、議論する時間が十分に取れるよう配慮されている。</p> <p>○国語、社会科、理科、保健体育科、技術・家庭科、特別活動、総合的な学習の時間と関連がある教材が多い。また、巻末の「内容項目別教材一覧表」で、各教材と他教科等との関連を示しており、学校教育全体を通じて行う道徳教育の要として連携が取りやすくなっている。さらに、巻頭の「この教科書で学べるテーマ」で、各教材と現代的な課題との関連が示されている。</p>	<p>○学校生活の実態と生徒の成長を考慮して、複数の教材をまとめたユニットで全教材が分けられており、内容項目は緩やかに関わり合いながら学びがつながるように配列が工夫されている。</p> <p>○国語、社会科、理科、保健体育科、技術・家庭科、特別活動、総合的な学習の時間と関連がある教材が多い。巻末の「この教科書が目ざした〇年生の姿」では、各教材と他教科等との関連が示されており、また、巻末の「教材別テーマ一覧」では、色別に分けられた見出しで、教材と現代的な課題との関連が示されている。</p>	<p>○生徒の発達段階や学校の年間行事などを踏まえた教材配列や複数教材を組み合わせたユニットを構成する教材配列で、系統的に学習が展開できるよう工夫されている。</p> <p>○社会科、理科、保健体育科、特別活動との関連が多い。また、巻末の「内容項目別教材一覧」に他教科等との関連が示されており、生徒が他教科等の学習内容や現代的な課題との関連が想起しやすい。また、2年生では職場体験学習に関連した教材やコラムを複数配置する等、特別活動等での多様な体験活動を生かした道徳科の授業が実施できるように工夫されている。</p>	<p>○生徒の発達段階や学校の年間行事などを踏まえた教材配列や複数教材を組み合わせたユニットを構成する教材配列で、系統的に学習が展開できるように工夫されている。</p> <p>○現代的な教育諸課題等との関連については、各教材の題名下にマークで示され、見やすく構成されている。一方、他教科との関連について明示されておらず、分かりづらい。</p>	<p>○生徒の発達段階や学校の年間行事などを踏まえた教材配列や複数教材を組み合わせたユニットを構成する教材配列で、系統的に学習が展開できるように工夫されている。</p> <p>○国語科、社会科、理科、保健体育科、特別活動との関連が多い。また、巻末の「内容一覧」に他教科等との関連が示されており、生徒が他教科等の学習内容や現代的な課題との関連が想起しやすい。</p>	<p>○教材は内容項目の順に並べられており、年間の流れや生徒の成長過程を踏まえた配列や教材間のつながりを意識した配列とはなっておらず、使いづらい。</p> <p>○現代的な教育諸課題等との関連ページは、各テーマで、見やすく構成されている。一方、他教科との関連が明示されておらず、関連を図りづらい。</p>



【選定の観点7】

表記、表現、写真、図表等が適切かつ正確であることに加え、ユニバーサルデザインの観点から、文字フォント、色の使用、紙面の構成等において見やすく読みやすいよう工夫・配慮がなされていること。また、再生紙の使用や環境に優しいインクの使用等環境への配慮がなされていること。

発行者名						
2 東書	17 教出	38 光村	116 日文	224 Gakken	232 あかつき	233 日科
<p>○横幅の広いAB版で、文字の大きさ、字間、行間も読みやすいよう工夫されている。</p> <p>また、既習漢字が使用され、人名や特殊な漢字には、振り仮名が付されている。</p> <p>○文字はユニバーサルデザインフォントが使用され、カラーユニバーサルデザインにも配慮されている。</p> <p>○製本は堅牢で、十分な耐久性を備えている。</p> <p>○再生紙と植物油インキが使用されている。</p>	<p>○B5版で、文字の大きさ、字間、行間も読みやすいよう工夫されている。また、既習漢字が使用され、人名や特殊な漢字には、振り仮名が付されている。</p> <p>○文字はユニバーサルデザインフォントが使用され、カラーユニバーサルデザインにも配慮されている。</p> <p>○製本は堅牢で、十分な耐久性を備えている。</p> <p>○再生紙と植物油インキが使用されている。</p>	<p>○B5版よりも横幅が広く、AB版よりもコンパクトなB5変型版で、文字の大きさ、字間、行間も読みやすいよう工夫されている。また、既習漢字が使用され、人名や特殊な漢字には、振り仮名が付されている。</p> <p>○文字はユニバーサルデザインフォントが使用され、カラーユニバーサルデザインにも配慮されている。</p> <p>○製本は堅牢で、十分な耐久性を備えている。</p> <p>○環境に配慮した紙と植物油インキが使用されている。</p>	<p>○B5版で、文字の大きさ、字間、行間も読みやすいよう工夫されている。また、既習漢字が使用され、人名や特殊な漢字には、振り仮名が付されている。</p> <p>○文字はユニバーサルデザインフォントが使用され、カラーユニバーサルデザインにも配慮されている。</p> <p>○製本は堅牢で、十分な耐久性を備えている。別冊ノートは左開き、本冊は右開きのため、使いにくい。</p> <p>○再生紙と植物油インキが使用されている。</p>	<p>○横幅の広いAB版で、文字の大きさ、字間、行間も読みやすいよう工夫されている。</p> <p>また、既習漢字が使用され、人名や特殊な漢字には、振り仮名が付されている。</p> <p>○文字はユニバーサルデザインフォントが使用され、カラーユニバーサルデザインにも配慮されている。</p> <p>○製本は堅牢で、十分な耐久性を備えている。</p> <p>○環境に配慮した紙とインキ、印刷方法が使用されている。</p>	<p>○B5版で、文字の大きさ、字間、行間も読みやすいよう工夫されている。また、既習漢字が使用され、人名や特殊な漢字には、振り仮名が付されている。</p> <p>○文字はユニバーサルデザインフォントが使用され、カラーユニバーサルデザインにも配慮されている。</p> <p>○製本は堅牢で、十分な耐久性を備えている。</p> <p>○再生紙と植物油インキが使用されている。</p>	<p>○横幅の広いAB版で、文字の大きさ、字間、行間も読みやすいよう工夫されている。</p> <p>また、既習漢字が使用され、人名や特殊な漢字には、振り仮名が付されている。</p> <p>○文字はユニバーサルデザインフォントが使用され、カラーユニバーサルデザインにも配慮されている。</p> <p>○製本は堅牢で、十分な耐久性を備えている。</p> <p>○環境に配慮した紙と植物油インキが使用されている。</p>